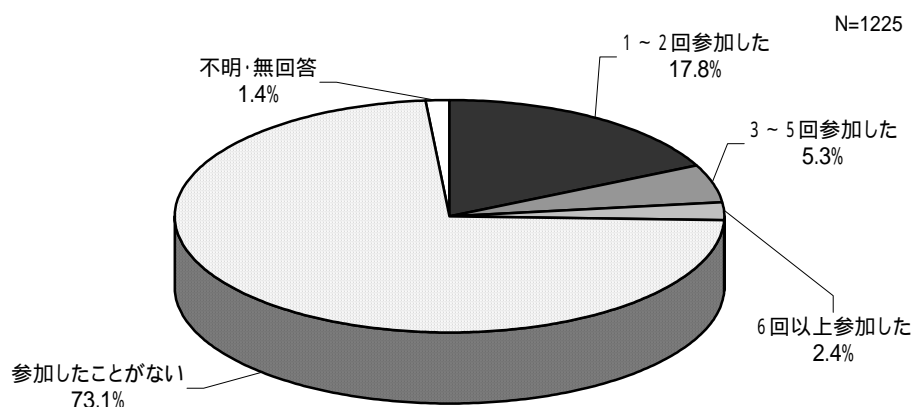


人権啓発事業等への参加・関心

問2 人権についての催しへの参加回数や、市民しんぶん等の記事への関心についてお尋ねします。

市役所・区役所・学校で行われる講演会や研修会に（は1つ）



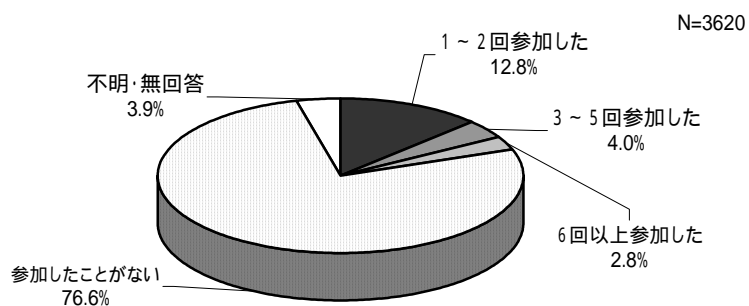
「1~2回参加した」が17.8%、「3~5回参加した」が5.3%、「6回以上参加した」が2.4%と、参加したことがある人は、合わせて25.5%となっている。また、「参加したことがない」(73.1%)は7割を超えている。

なお、前回の調査とは質問文が異なるため単純な比較はできないものの、参加したことがある人の割合は高くなっている。

参考

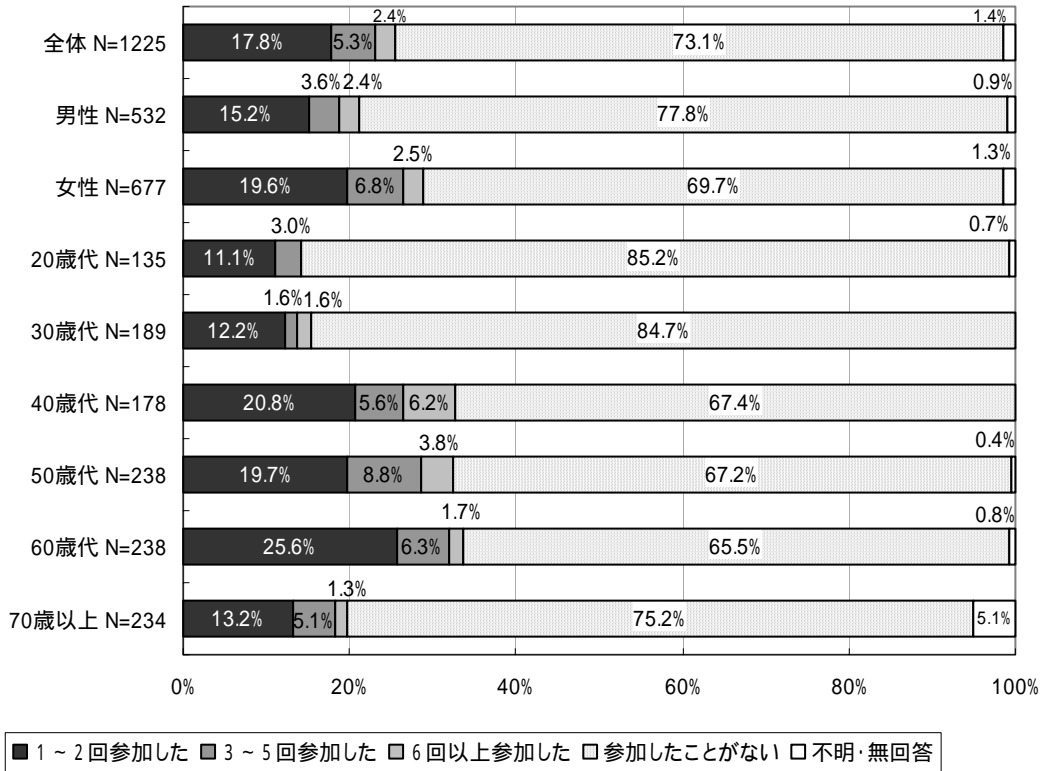
前回（平成12年調査）

『市役所・区役所や学校で行われる市民や保護者対象の講演会や研修会』



今回調査の質問文と若干の相違がある。

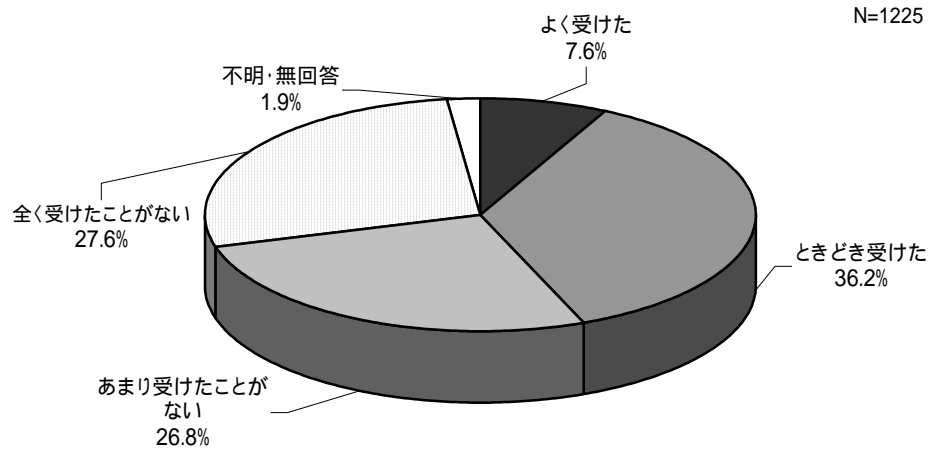
性別・年齢別



性別でみると、市役所などで行われる講演会や研修会に参加したことがある人は、男性では21.2%、女性では28.9%と、女性の方が高くなっている。

年齢別でみると、市役所などで行われる講演会や研修会に参加したことがある人は、20歳代、30歳代、70歳以上では10%台となっているが、40歳代から60歳代では30%を超えるなど、参加率が比較的高くなっている。

学校の授業や学級活動，特別活動での人権教育を（ は1つ）



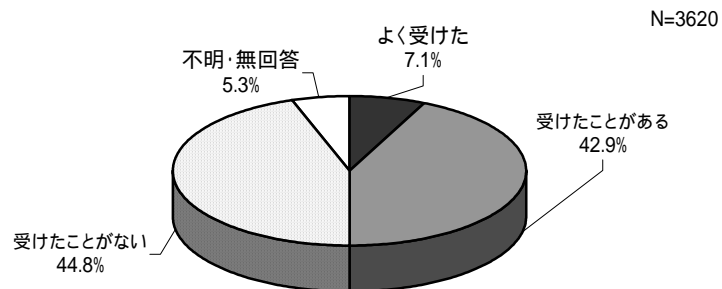
「よく受けた」が7.6%、「ときどき受けた」が36.2%で、これらを合わせると43.8%と4割を超えている。また、「あまり受けたことがない」が26.8%、「全く受けたことがない」は27.6%となっている。

なお、前回の調査とは質問文・選択肢が異なるため単純な比較はできないものの、何らかの形で人権教育を受けた経験のある人の割合は高くなっている。

参考

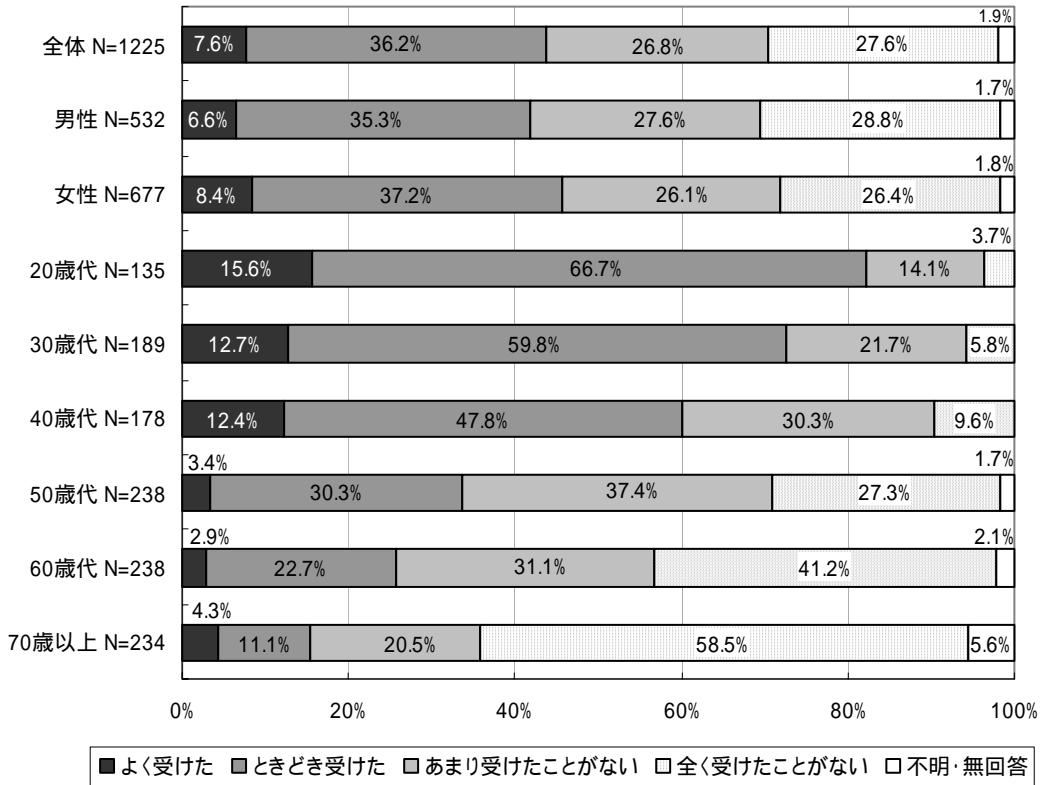
前回（平成12年調査）

『学校の授業やホームルーム，特別活動での同和教育や人権教育』



今回調査の質問文・選択肢と若干の相違がある。

性別・年齢別

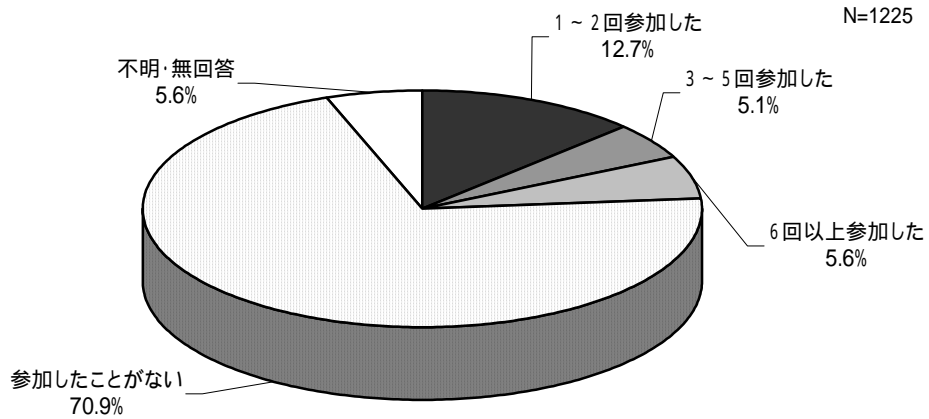


性別でみると、学校での人権教育を「よく受けた」と「ときどき受けた」を合わせると、男性では 41.9%，女性では 45.6%と、女性の方が少し高くなっている。

年齢別でみると、学校での人権教育を「よく受けた」と「ときどき受けた」を合わせると、年齢が低いほど高くなる傾向が見られ、最も高い 20 歳代では 82.3%となっているのに対して、70 歳以上では 15.4%と、70 ポイント近くの非常に大きな差が見られる。

また、「全く受けたことがない」については、20 歳代から 40 歳代では 10%以下であるのに対して、50 歳代では 20%台、60 歳代では 40%台、70 歳以上では 50%台と、年齢により大きな差が見られる。

職場で行われる研修会に（は1つ）



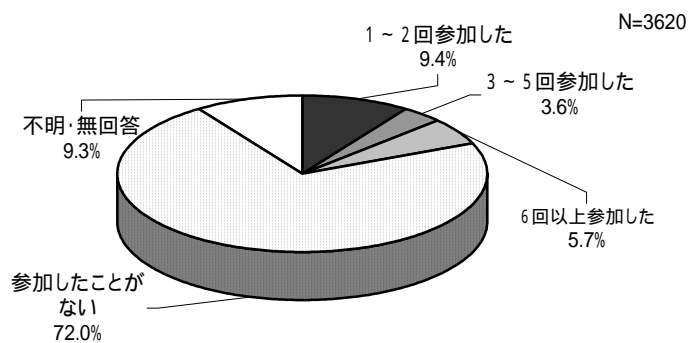
「1～2回参加した」が12.7%、「3～5回参加した」が5.1%、「6回以上参加した」が5.6%と、参加したことがある人は、合わせて23.4%となっている。また、「参加したことがない」(70.9%)は7割を超えている。

なお、前回の調査と比較すると、参加したことがある人の割合は少し高くなっている。

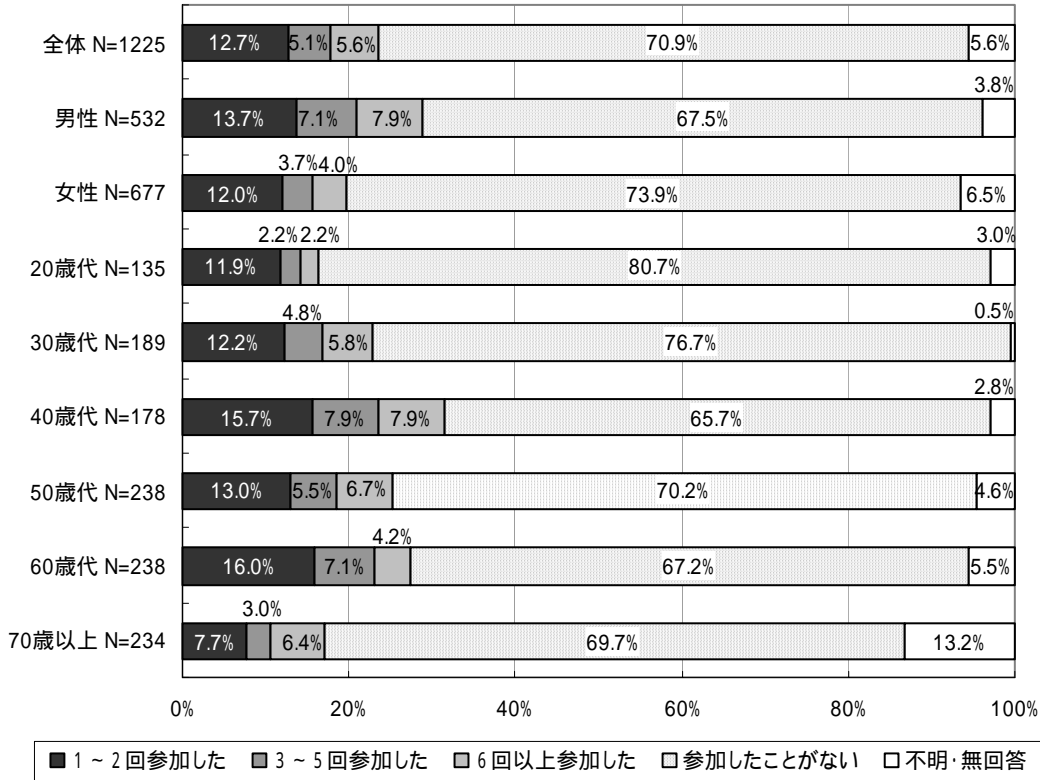
参考

前回（平成12年調査）

『職場で行われる研修会』



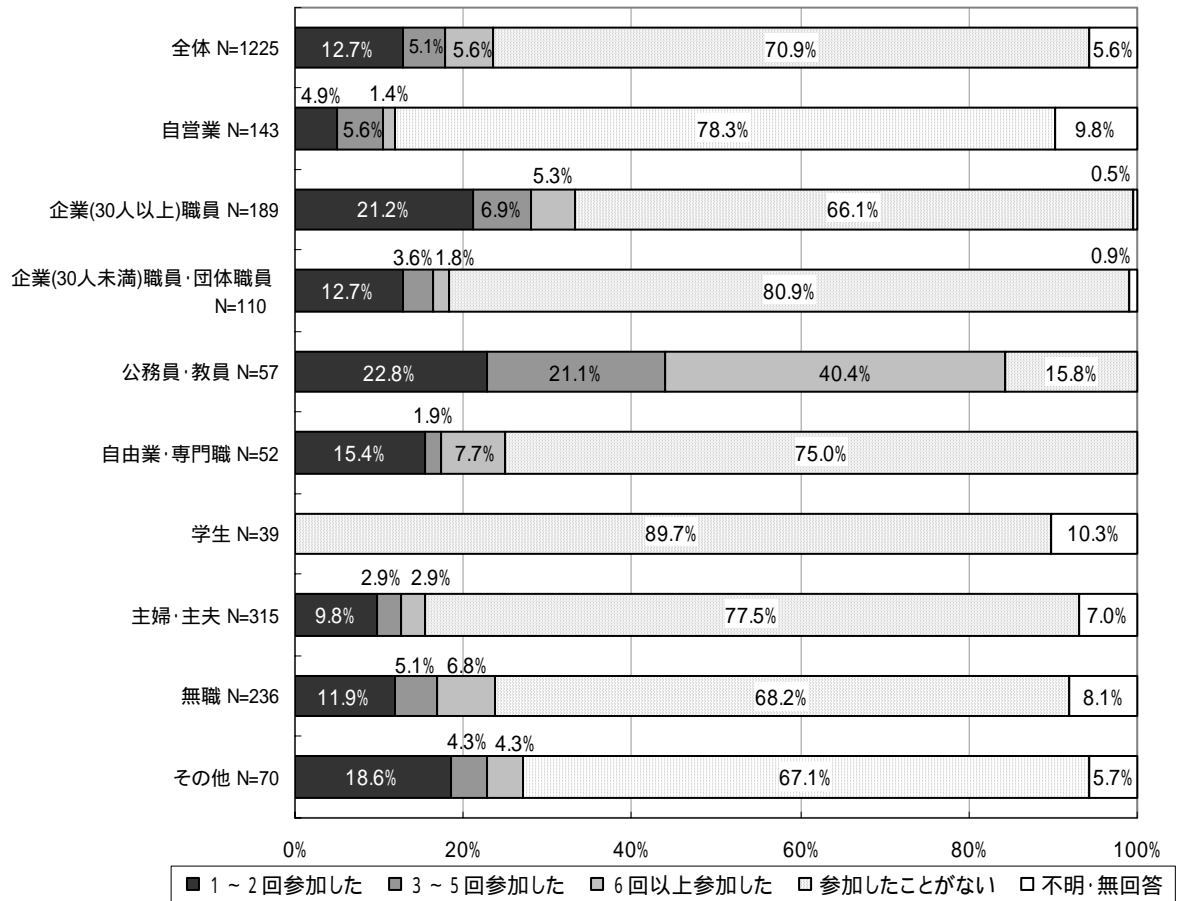
性別・年齢別



性別で見ると、職場で行われる研修会に参加したことがある人は、男性では 28.7%、女性では 19.7%と、男性の方が 10 ポイント近く高くなっている。

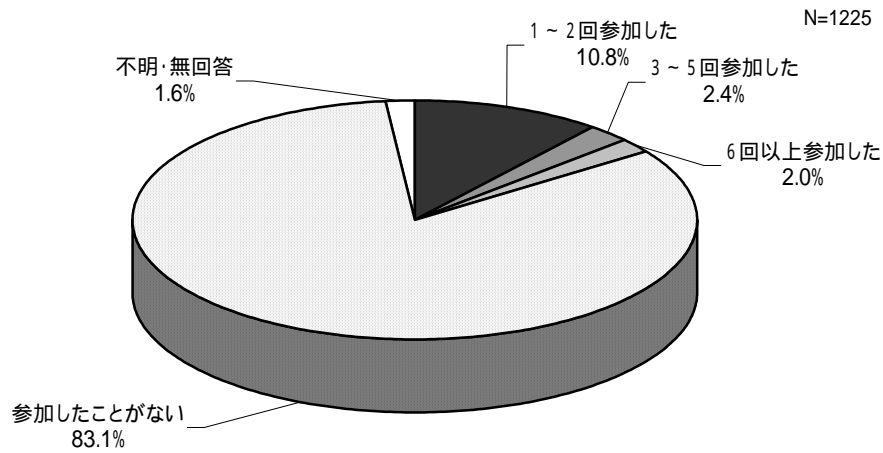
年齢別で見ると、職場で行われる研修会に参加したことがある人は、30 歳代から 60 歳代では 20%から 30%台となっているのに対して、20 歳代、70 歳以上では 10%台となっている。

職業別



職業別でみると、職場で行われる研修会に参加したことがある人は、公務員・教員では84.3%と非常に高い参加率となっている。次いで、企業(従業員30人以上)職員が33.4%となっている。

市民グループや民間団体（世界人権問題研究センター）などによる講演会や研修会に
（ は1つ）



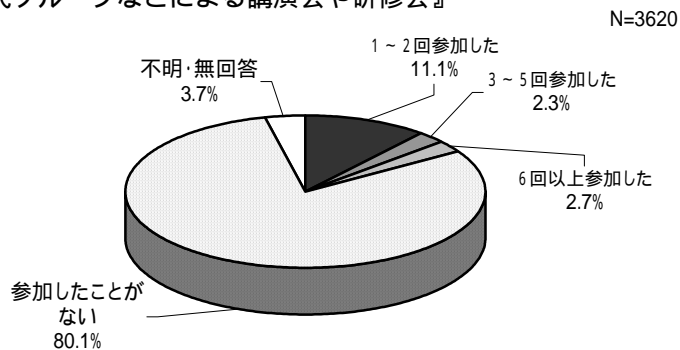
「1～2回参加した」が10.8%、「3～5回参加した」が2.4%、「6回以上参加した」が2.0%で、参加したことがある人は、合わせて15.2%となっている。また、「参加したことがない」（83.1%）は8割を超えている。

なお、前回の調査とは質問文が異なるため単純な比較はできないものの、ほぼ同じような内容となっている。

参考

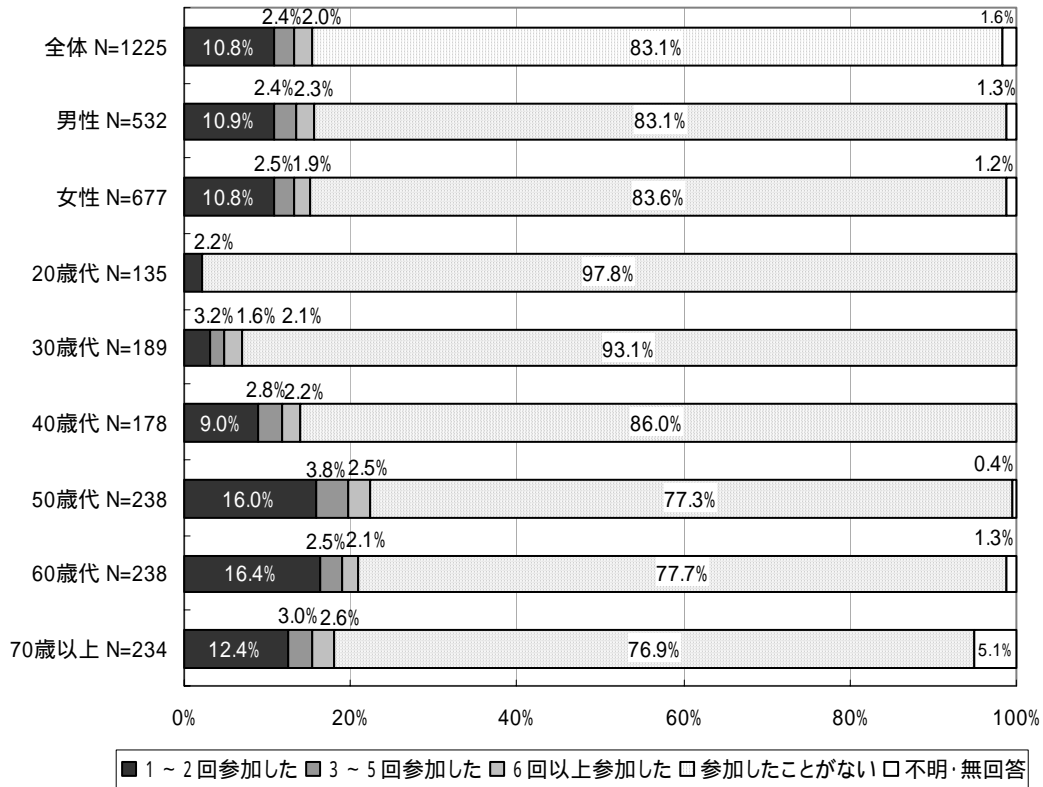
前回（平成12年調査）

『民間団体や市民グループなどによる講演会や研修会』



今回調査の質問文と若干の相違がある。

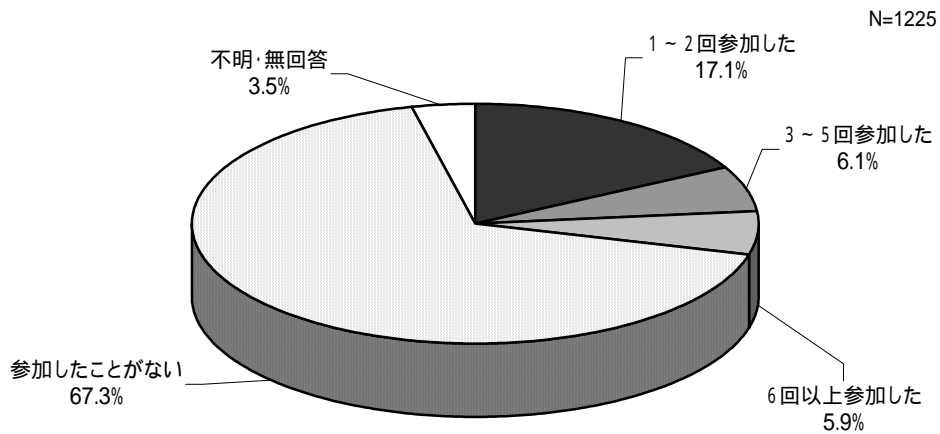
性別・年齢別



性別でみると、市民グループや民間団体による講演会や研修会に参加したことがある人は、男性では15.6%、女性では15.2%と、ほぼ同率となっている。

年齢別でみると、市民グループや民間団体による講演会や研修会に参加したことがある人は、50歳代、60歳代では20%台、40歳代、70歳以上では10%台、20歳代、30歳代では10%以下となっている。

高齢者，障害のある人や外国人・外国籍市民などと交流する催しに（ は1つ）



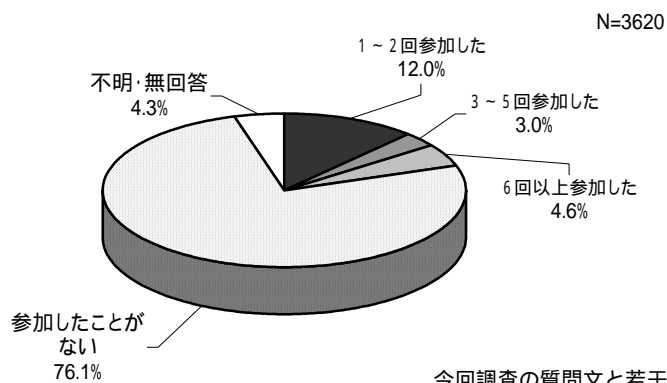
「1~2回参加した」が17.1%、「3~5回参加した」が6.1%、「6回以上参加した」が5.9%で、参加したことがある人は、合わせて29.1%と、人権啓発事業の中でも、最も参加率が高くなっている。また、「参加したことがない」は67.3%となっている。

なお、前回の調査とは質問文が異なるため単純な比較はできないものの、参加したことがある人の割合は10ポイント近く高くなっている。

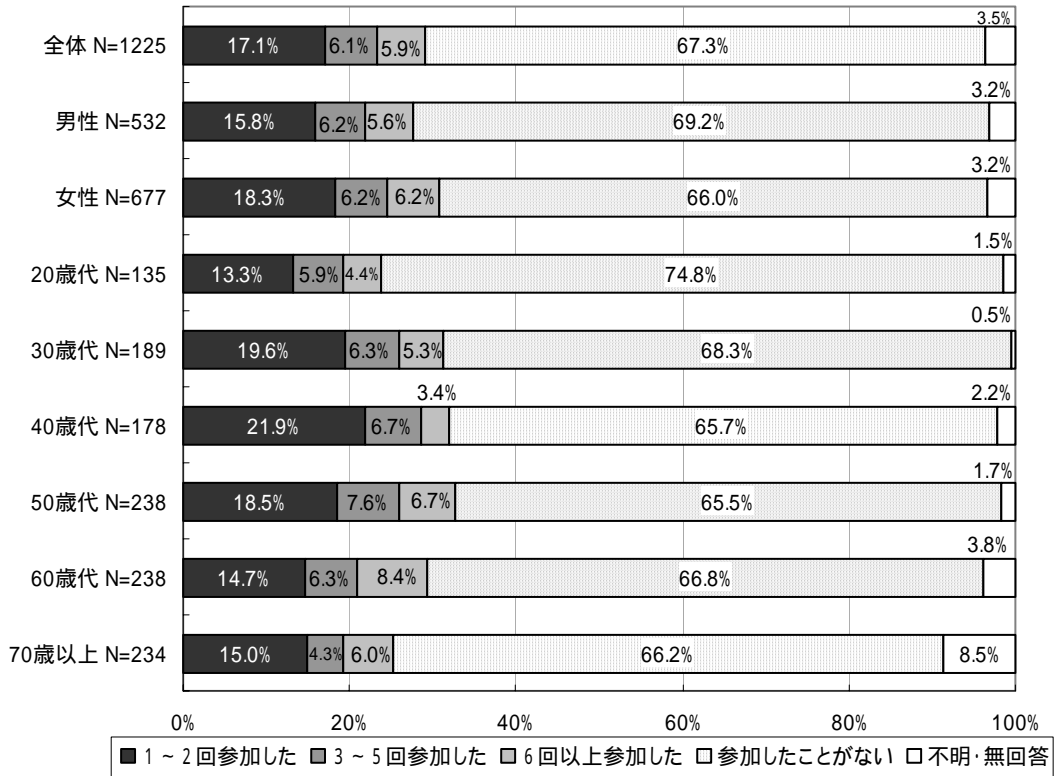
参考

前回（平成12年調査）

『障害のある人，同和地区出身者や外国籍の人などとの交流事業』



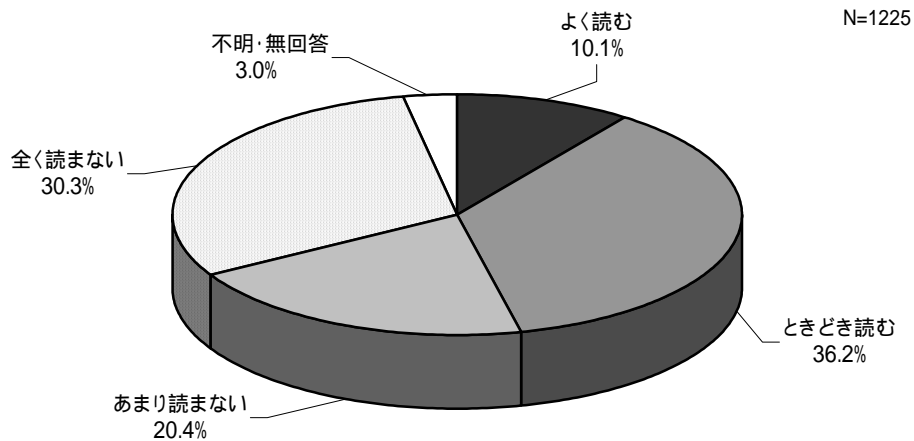
性別・年齢別



性別でみると、高齢者や障害のある人などと交流する催しに参加したことがある人は、男性では 27.6%、女性では 30.7%と、女性の方が少し高くなっている。

年齢別でみると、高齢者や障害のある人などと交流する催しに参加したことがある人は、30歳代から50歳代では30%台、20歳代、60歳代以上では20%台となっている。

市民しんぶんの人権に関する記事や、人権情報誌「あい・ゆーKYOTO」を（は1つ）



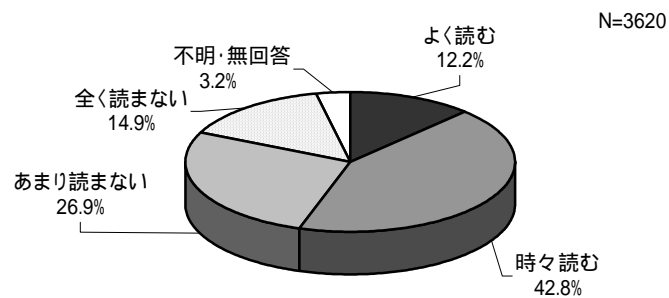
「よく読む」が 10.1%、「ときどき読む」が 36.2%で、これらを合わせると 46.3%と約半数となっている。また、「あまり読まない」が 20.4%、「全く読まない」は 30.3%となっている。

なお、前回の調査とは質問文が異なるため単純な比較はできないものの、「よく読む」と「ときどき読む」を合わせると 10 ポイント近く低くなっている。

参考

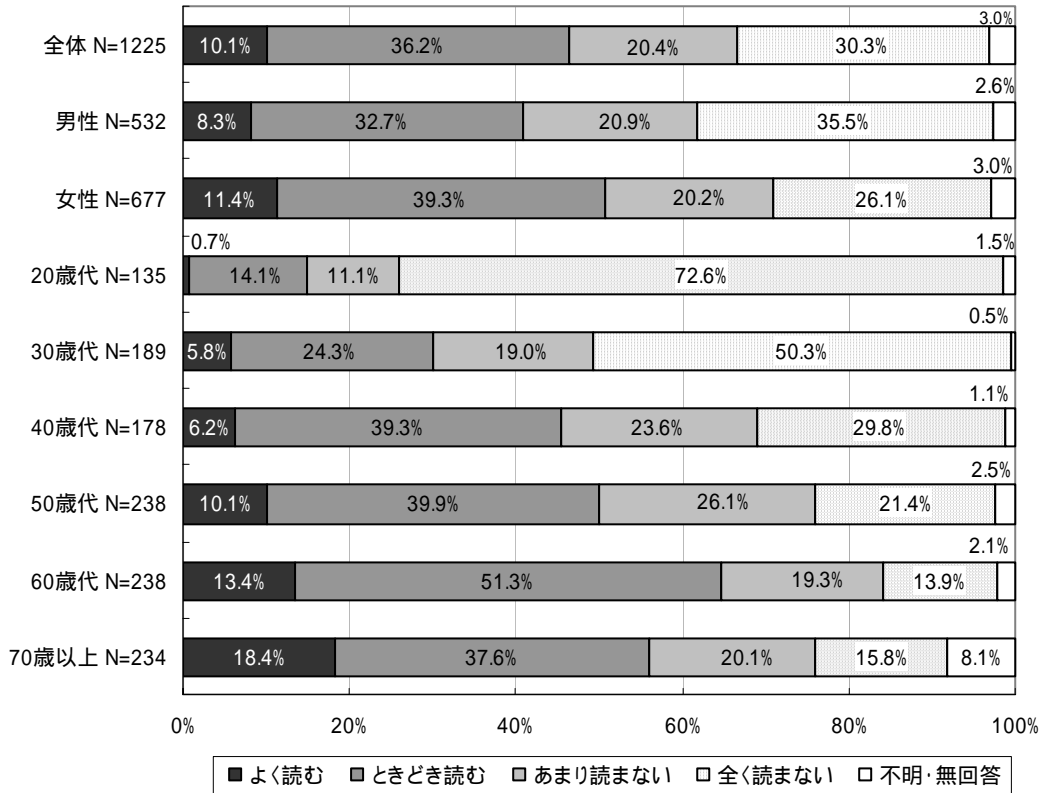
前回（平成 12 年調査）

『人権問題に関する市民しんぶん等広報誌の記事』



今回調査の質問文と若干の相違がある。

性別・年齢別



性別で見ると、市民しんぶんの人権に関する記事や人権情報誌を「よく読む」と「ときどき読む」を合わせると、男性では 41.0%，女性では 50.7%と、女性の方が 10 ポイント近く高くなっている。また、「全く読まない」は、男性の方が 10 ポイント近く高くなっている。

年齢別で見ると、市民しんぶんの人権に関する記事や人権情報誌を「よく読む」と「ときどき読む」を合わせると、年齢が高いほど高くなる傾向が見られ、最も高い 60 歳代では 64.7%となっているのに対して、20 歳代では 14.8%と、50 ポイント近くの大きな差が見られる。